

←お持ち帰り止めしてください。

■ 動物

☐ DNA

☐ R I

提出先：動物実験責任者の所属学部・研究科事務室
提出方法：本実験に連動する組換えDNA実験，R I 実験があれば，実験申請書類をクリップ等でひとつの束にまとめて提出してください。

※事務局
受付番

※組換えDNA実験、RI実験がある場合はチェックをしてください。

()号

()号

()号

()号

動物実験実施計画書（表紙）

同志社大学長

提出日：2025 年 ● 月 ● 日

動物実験責任者の情報をご記入ください。
「（動物-様式3）報告書」，「（動物-様式4）変更申請書」の動物実験責任者欄にも同様の記載内容が自動的に反映されます。

動物実験
責任者

所 属：○○学部
職 名：教授
氏 名：新島 襄
電話番号：075-251-3158
メールアドレス：jniijim@mail.doshisha.ac

新島

同志社大学動物実験等の実施に関する規程第7条に基づいて、下記のとおり動物実験を計画いたしましたので、ご承認くださいますようお願いいたします。

実験 課題名	※授業として実施する場合は、実験課題名の後に「科目名（授業）」と記載してください。
	授業における実験の場合、科目名も必ず記入すること。
※「（動物-様式3）報告書」，「（動物-様式4）変更申請書」の実験課題名欄にも記載内容が自動的に反映されます。	
本実験に連動する以下の実験項目がある場合は、 ☐ → ☒ チェックに	
☐ 組換えDNA実験 ☐ R	
※本申請に関連する組換えDNA実験・R I 実験があれば、 ☐ → ☒ チェックし、申請書を同時に提出してください。	

※該当する実験に関する各申請書類一式をまとめて所属学部・研究科事務室へ提出してください。
※各実験実施者・実験動物飼養者の所属学部・研究科事務室において、

所属・職名は正式名称をご記入ください。
「実験実施者・実験動物飼養者」欄は、組換えDNA実験申請書、R I 実験実施計画書の「実験実施者・実験動物飼養者」欄と共通項目ですので、コピー&ペーストが可能です。
※組換えDNA実験・R I 実験のみにチェックが入った実施者は、動物実験の実験実施者とはみなしません。

訓練受講欄の「本年度」は、2025年度に開催される講習会の受講有無をもとにご記入ください。（受講有の場合、☒チェック）
訓練受講欄の「前年度」は、2024年度に開催された講習会の受講有無をもとにご記入ください。（受講有の場合、☒チェック）
「本年度」の訓練を受講済み（☒チェック）の場合、「前年度」の訓練受講欄をご記入いただく必要はありません。
各実験実施者・実験動物飼養者に必要な教育訓練については、動物実験責任者が判断してください。
学外者については、所属機関において必要な講習会を受講しているか確認してください。なお、当該訓練が本学で提供している講習会と照らし合わせて、内容に不足がある場合は、動物実験責任者が指導をしたうえで記入（☒チェック）してください。
また、本学の動物実験施設を利用する際は、学外者についても本学が提供する当該施設利用者講習会を受講する必要があります。

参加する実験の種類	所 属	職 名	学 部	姓 名	訓練受講状況	参加
■動物 ☐ DNA ☐ RI	○○学部	教授		新島 襄	前年度 ☒ 本年度 ☐	☐
■動物 ☐ DNA ☐ RI	○○研究科	学生	I4XXXXXXX	徳富 猪一郎	前年度 ☐ 本年度 ☐	☐
■動物 ☐ DNA ☐ RI	○○学部	学生	I1YYYYYYY	姓 名 修正	前年度 ☐ 本年度 ☐	☐
■動物 ☐ DNA ☐ RI 実験補助員として参加	○○学部	派遣社員			前年度 ☐ 本年度 ☐	☐

学部生・大学院生いずれも「学生」とご記入ください。

実験実施者が参加する実験の種類について☐→☒チェックしてください。

実験の補助業務のみに参加させる場合、参加する実験の種類欄の下部に「実験補助員として参加」とご記載ください。

※記入欄が不足する場合は、別シート「実験実施者・実験動物飼養者【別紙】」をご使用ください。

☐ 別紙あり 【別紙】はこのファイルの別シートにあります。別紙を添付する場合に☐→☒チェックしてください。

教育訓練未受講者は、教育訓練の受講が確認できるまで、実験・飼養に参加できませんのでご注意ください。

動物（様式Ⅰ） P. Ⅰ 「実験実施者・実験動物飼養者【別紙】」

※「(動物-様式3)報告書」、「(動物-様式4)変更申請書」や組換えDNA実験に係る申請書、RI実験に係る申請書と相互にコピー＆ペーストが可能です。

※事務
受付

※組換えDNA実験、RI実験がある場合は
チェックをしてください。

() 号)

() 号)

() 号)

() 号)

動物実験実施計画書

提出日：2025 年 ● 月 ● 日

所属：第A 240●●号

職
氏

※2024年度の承認番号がある場合はご記入ください。
※ご変更届の提出がある場合でも、上5桁の番号（枝番なし）をご記入ください。

I. 実験内容等に関する事項

動物実験
実施機関

■ | 同志社大学のみ

☐ 2 他機関を含む ※同志社大学に加え、他機関で実施される動物実験にも参加する場合

他機関名：

※他機関が実験実施場所となる動物実験に参加する場合は、別途「同志社大学所属者の動物実験参加に係る確認書（様式9）」、および他機関における「実験申請書」及び「承認通知書」のコピーを添付すること。

b	実験目的 と意義
---	-------------

実験目的（実験動物を教育、試験研究その他の科学上の利用に供する目的、意義、期待される成果などを記入すること。）

c

動物実験の方法・計画

実験動物の使用数の削減の理念に基づき、使用動物数の算出根拠、動物種選択理由を含め具体的に記入すること。算出根拠は「(X)のデータを検討するため、実験1群あたり(Y)種のラット5匹X3群=15匹必要」など具体的な数を記入すること。

実験の手順とともに、実験動物の苦痛軽減の原則に基づき、実験動物に加える処置等について、第三者に分かるように詳述(実験動物に加える処置(組換えDNA、RI実験等の処置も含む)、苦痛の排除・軽減方法、実験の目的、安楽死の具体的方法、人道的エンドポイント等)すること。(例)麻酔薬(X)を静注し苦痛を軽減した上で、〇〇の実験を行い、実験終了後、〇〇によって安楽死させる。

また、実験動物に対し有害な化学物質を投与し、実験動物の排泄物等に有害な化学物質が含まれている可能性がある動物実験を実施されている場合は、有害な排泄物等の取り扱いについて講じる対策を記入すること。

d

動物実験実施期間

※西暦でご記入ください。

委員会承認後 ~ 2026 年 3 月 31 日

※申請書の承認期間は、年度単位です。
(最長で、委員会承認後～年度末までとなります。)

e

動物実験の場所

☐ 1 今出川校地 館 室

☒ 2 京田辺校地 医心 館 ●●● 室

訪知 館 ●●● 室

館 室

☐ 3 他機関 ()

室名は、部屋番号もしくは、使用場所の名称をご記入ください。
例えば、医心館の場合、「INI55」でも「特殊実験棟動物実験施設CONV実験(室)」でも結構です。

f

使用実験動物

動物種	系 統	性 別	匹 数	年 齢	入 手 先 (導入機関)	備 考
マウス	C57BL/6	雄	10匹	6週齢	〇〇(株)	
マウス	○△ノックアウトマウス	雄	2匹	6週齢	〇〇研究所	

「動物(様式3)報告書」のf欄にも、同様の記載内容が自動的に反映されます。

・遺伝的保証について

通常マウスの例：入手先〇〇(株)において遺伝的保証を行っている。
組換えマウスの例：○△ノックアウトマウスの遺伝情報に関しては、譲渡者の〇〇研究所から情報提供を受けており、また申請者も遺伝的保証を確認する。

・微生物学的保証について

通常マウスの例：入手先の〇〇(株)において微生物モニタリングを行っている。
組換えマウスの例：○△ノックアウトマウスの微生物学的保証は、譲渡者の〇〇研究所から微生物証明書を受け、さらに本学での検疫により微生物学的保証を確認する。

動物（様式Ⅰ） P. 4

m	向精神薬及び麻薬※	☐ 無 ☒ 有 (向精神薬)	使用薬品名 : ミダゾラム (ドルミカム注射液10mg) 使用量 : ●ml/kg 保管場所 : INI2IN薬品保管庫 使用場所 : INI2IN 登録施設名 : 同志社大学京田辺キャンパス○○館 向精神薬研究施設設置者登録番号 : 第14U●●●●号	☐ 有 (麻薬等) 使用薬品名 : 使用量 : 保管場所 : 使用場所 : 登録施設名 : 麻薬研究者免許番号 :
---	-----------	---	---	---

Ⅱ. 動物の飼養保管等に関する事項 ☐ 該当せず (飼養保管の必要がない場合、☐→☒チェックしてください。)

n	飼養保管期間	委員会承認後 ~ 2026 年 3 月 31 日			
		※医心館特殊実験棟動物実験施設並びに訪知館動物実験施設への動物入荷の1週間前までに、環境保全・実験実習支援センター事務室へ「飼育依頼書」(実験責任者の押印済)の提出が必要です。			
o	飼養保管場所	☐ 1 今出川校地 館 室 ☒ 2 京田辺校地 医心 館 ●●● 室 訪知 館 ●●● 室 館 室 ☐ 3 他機関 (室名は、部屋番号もしくは、使用場所の名称をご記入ください。 例えば、医心館の場合、「INI56」でも「特殊実験棟動物実験施設CONV動物(室)」でも結構です。			
p	飼養形態	☐ 個別飼養 ☒ 群飼養 (1ケージ当たりの匹数: 匹)			
q	飼料	マウス専用固形飼料			
r	ヒトへの危険性	☒ 無 ☐ 有 ()			

Ⅲ. 動物福祉等に関する事項

s	想定される苦痛のカテゴリー	☐ 1 動物に対してほとんど(あるいはまったく)不快感、苦痛を与えないと思われる実験 ☒ 2 動物に対して軽度のストレス又は痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験 ☐ 3 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験 ☐ 4 無麻酔下での動物に耐えうる限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験 ☐ 5 その他 (内容:)
---	---------------	---

† 実験動物の 苦痛軽減・ 排除方法	☐ 1 軽度な苦痛の範囲内なので特に措置を講じない。 (程 度 :) ☐ 2 短時間の保定・拘束なので特に措置を講じない。 (程 度 :) ☒ 3 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 (薬品名 : 三種混合麻酔薬 (塩酸メドミジン●ml+ミダゾラム●ml+酒石酸ブトルファノール●ml)) (投与量 : ● m l / k g) (入手経路 : ●●製薬株式会社) (保管場所 : I N I 2 I N薬品保管庫) ☐ 4 長時間の保定・拘束が避けられない。 (理 由 :) ☐ 5 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在しない。 (理 由 :) ☐ 6 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとる。 (内 容 :) ☐ 7 その他 (内 容 :)
u 実験動物の 安楽死の 方法	☒ 1 麻酔薬投与 (薬品名 : イソフルラン) (投与量 : 過量投与) (入手経路 : ●●製薬株式会社) (保管場所 : I N I 2 I N薬品保管庫) ☐ 2 炭酸ガスの吸入 ☐ 3 中枢破壊 (方法 :) ☐ 4 その他 (方法 :)
v 実験動物の 死体処理 方法	☒ 1 外部業者に委託 ☐ 2 その他 (方法 :)

Ⅳ. その他の事項

W	その他注意、 配慮している 事項	安全管理（病原体等）、健康管理（検疫等）、危害防止（逸走等）など特に注意、配慮している事項があれば記入すること。
X	許諾事項	関連法令等により、飼養保管等の許可が必要な場合（特定動物や特定外来生物に該当する実験動物を飼養、保管する場合は、国又は自治体の許可について明記すること。
Y	参考事項	本動物実験実施計画の学内外の動物実験関連委員会への申請・審査状況及び飼養保管施設・実験室の承認状況などを記入すること。

※ 委員会記入欄

Z	審 査 終 了	年 月 日
	修正意見等 (対 応 等)	
	審 査 結 果	☐ 本実験計画は、同志社大学動物実験等の実施に関する規程に適合する。 （条件 ☐ （同志社大学組換えDNA実験安全管理委員会の承認後、実験を開始すること。） （条件 ☐ （同志社大学放射線管理委員会の承認後、実験を開始すること。） ☐ 本実験計画は、同志社大学動物実験等の実施に関する規程に適合しない。